

広げよう ボランティアの輪

特集：ボランティア

皆さんは「ボランティア」という言葉を聞くとどんな印象をお持ちですか。興味のある人、一歩引いてしまう人、色々な意見があると思います。ちょっととした思いやりの行動。それがボランティアではないでしょうか。鏡石町でもたくさんの方々がボランティアとして活動されています。今月号では、ボランティア活動の拠点ボランティアセンターの紹介とボランティアの方々がどんな活動をされているのかを見てみましょう。

できることから始めましょう

現在、私たちの周りでもボランティア人口が増え、ボランティアの輪が広がってきています。ボランティアは、自分の意志で始めるもので、誰かに強制されて行うものではありません。特別な資格や技能がなくても、自分のできることから、無理なく始めることができます。③内容を確認してできると思ったら承諾してください。

町内のボランティア活動の内容を見てみると、高齢者とお茶のみから子どもの見守りなど様々です。その他にも老人施設の掃除手伝い、学校の図書室整理、駅や道路などのゴミ拾い、古切手、アルミ缶プルタブなどの収集などが行われています。

町ボランティアセンターを通じて活動を始めたい方がボランティアを始めると、まず、①ボランティアセンターに登録していただきます。②ボランティアの依頼があった時に、その内容を検討し、登録している人の中から人選をして連絡をします。③内容を確認してできると思ったら承諾してください。

鏡石町ボランティアセンター

鏡石町ボランティアセンターは、ボランティア活動の拠点として平成16年10月に設置されました。ボランティアセンターには13団体、24人の個人が登録しています。



ボランティアコーディネーター
三浦光幸さん
「送迎ボランティアがきっかけとなってボランティアを始めることとなりました。それまでは、ボランティアに無関心でした」と話す三浦さん

登録団体の活動内容は、高齢者とお茶のみ、安否確認、配食サービス、老人施設の掃除手伝い、子どもの見守り、学校の図書室整理、駅や公園などの清掃など様々です。

ボランティアする側と受ける側の仲介、広報誌などによる普及活動、講座などを開催しボランティアの育成、調査・研究などを行っています。町ボランティアセンターコーディネーターの三浦光幸さんが、「どんなことでもボランティア。ご褒美を期待しないで人のために何かをすること。昔の隣組のようにお互い助け合うことが原点ではないでしょうか。笑顔と笑顔のお手伝いできればいいですね」と話していました。



2月には「相手を理解する？」と題して、ボランティア勉強会を開催



小・中・高校生を対象としたサマースクールボランティアスクールには約60名が参加

第4回 社会福祉大会を開催

第4回鏡石町社会福祉大会が11月11日(日)第一小学校体育館で開催されました。大会には、関係者約300人が出席しました。式典では、長年にわたり社会福祉事業に尽力された方々に表彰状が贈られました。また、NHKアナウンサーの古屋和雄氏による記念講演が行なわれました。

初めの試みとなったボランティアフェスティバルでは、18の団体がそれぞれ展示スペースを設け、写真やパネルで活動内容を紹介しました。

多額の金品を寄付し、大木公一、鈴木格、佐藤久一、滝田三良(弁護士)、永山富士男(永山富士男司法書士事務所)、影山圭二(影山保険事務所)、石川澄伸(石川製作所)ボランティア標語入選者 菱沼ちひろ、竹山美湖、鈴木拓麻、星丞、森合未奈、阿部詩音、遠藤菜央、車田希、仲沼裕、小泉奈緒子、根本祥季

受賞者のみなさん(敬称略)
社会福祉事業功労表彰状 今駒弘、正木正秋、小栗清一、根本長治、井上政雄、佐藤秀雄、佐藤哲郎、飛沢ハル子、面川平六、面川壽、面川フク子、鬼熊清子
社会福祉事業感謝状 ボランティア活動「鶴飼フジ子、鶴沼文子、山田清一、小林洋一、大内キヨコ

ボランティアフェスティバル参加団体

団体名	団体名
鏡石環境を考える会	特別養護老人ホーム鏡石ホーム
手話サークル「ひまわり」	鏡石町健康推進員会
配食サービスボランティア	鏡石町ヘルスメイト
花みずき	鏡石町赤十字奉仕団
E M E C 鏡石	イオンスーパーセンター鏡石店
シニア汗流会	鏡石町老人クラブ連合会
読み聞かせボランティアグループあゆみらい	鏡石町シルバー人材センター
牧場の朝友の会・歴史資料館	鏡石町婦人会
障がい者共同作業所 かがみ工房	岩瀬農業高等学校

- <写真上> 評議員として尽力された井上政雄さん。その他、ボランティア活動に貢献、多額の金品を寄付、ボランティア標語に入選された方々に感謝状が贈られました。
- <写真右> そば作らん会(安藤利吉会長)によるそば打ちの実演。ボランティアの協力により、災害時の炊き出し、とん汁やそばの試食がありました。
- <写真下> 18の団体が活動内容の発表などをパネルなどで紹介しました。手話サークルひまわりの会員は、活動紹介の傍ら、式典の手話通訳ボランティアを務めました。
- <写真左> NHKアナウンサーの古屋和雄氏は、「誰もが幸せに生きるために」と題した講演を行いました。講演では、大阪支局に在籍した時に体験した阪神淡路大震災の特集番組作成に関する裏話なども披露されました。

